

平成27年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第1学年社会 解答一覧 No. 1

※文章記述については、同じような意味であれば可とする。

大問	中間	小問	連番	観点	概ね満足できる解答状況	十分満足できる解答状況
					成績処理システムでは 1 と入力すること	成績処理システムでは 2 と入力すること
1	(1)		①	知識理解		・イ
	(2)		②	知識理解		・ア
	(3)		③	思考判断表現		・健康で文化的な生活を営む権利
	(4)		④	知識理解		・税 ※「税金」も可。
	(5)		⑤	関心意欲態度	○高齢化が進んだ社会で生活していくために必要なことを記述しているが、高齢者の立場からの記述がない。 ・超低床電車を整備すること ・福祉施設の数を増やすこと ・避難場所や避難ルートを確認すること 等	○高齢化が進んだ社会で生活していくために必要なことを、高齢者の立場から記述している。 ・足が不自由なお年寄りの方でも乗り降りしやすい超低床電車を整備すること ・お年寄り同士がより気軽にふれ合えるような福祉施設の数を増やすこと ・災害が起きた時、お年寄りの方が早く安全に避難するために、避難場所や避難ルートマップをつくること 等
2	(1)		⑥	技能		・ウ
	(2)		⑦	技能	○グラフから気づいたことを、気温または、降水量の一方から記述している。 ・東京と比べて年間の温度差が大きい。 ・東京と比べて降水量が少ない。 ・東京と比べて全体的に気温が低い。 等	○グラフから気づいたことを気温と降水量の両面から記述している。 ・東京と比べて、年間の温度差が大きく、降水量は少ない。 ・東京と比べて、全体的に気温が低く、降水量は少ない。 等
	(3)		⑧	知識理解		・え
	(4)		⑨	知識理解		・ア
	(5)		⑩	思考判断表現	○冷帯で行われている工夫について記述している。 ・室内の温度を下げないようにするため。 等	○冷帯の気温の特徴とそれに対する工夫について記述している。 ・冬の気温が低いので、室内の暖かさを外に逃がさないようにするため。 等
<b>【授業改善の視点】</b> 地理的分野の学習においては、地理学習の基礎となる地図や地球儀を積極的に活用して位置関係を把握し、地図や地球儀を使って説明する言語活動を積極的に取り入れる。						
3	(1)		⑪	知識理解		・ア ヒマラヤ山脈 ・イ インダス川 (完答)
	(2)		⑫	技能		○一人当たりの国内総生産額が高いことから、移動している理由を記述している。 ・一人当たりの国内総生産額が高いため、内陸部から沿岸部へ移動している。 等
	(3)		⑬	思考判断表現		○2つとも正解している。 ・ア ・イ
	(4)		⑭	思考判断表現	○経済特区への外国企業の受け入れ、安い労働力のどちらか一方から記述している。 ・中国の沿海部には、経済特区がつくられ、外国企業を受け入れることができたから ・安い労働力を生かした生産を行うことができたから 等	○国内総生産が増えた理由として、経済特区への外国企業の受け入れや安い労働力を使った生産について記述している。 ・中国の沿海部では、経済特区に外国企業を受け入れ、安い労働力を生かした生産を行うことができたから 等

平成27年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第1学年社会 解答一覧 No. 2

※文章記述については、同じような意味であれば可とする。

大問	中間	小問	連番	観点	概ね満足できる解答状況	十分満足できる解答状況
					成績処理システムでは 1 と入力すること	成績処理システムでは 2 と入力すること
3	(5)		15	思考 判断 表現		○それぞれの資料から分かることを関連付けて自分の考えを記述している。 テーマ① 人口 【アとウ】 ・人口は、中国が日本の10倍以上となっているが、その人口構成を比較すると、日本が少子高齢化しているといえる。 テーマ② 農業 【アとイ】 ・一人当たりの農畜産物の生産量の割合は、米、小麦、牛肉すべてで中国が日本を上回っており、食糧自給率が高いといえる。 テーマ② 農業 【アとエ】 ・中国と日本の総人口に対する農林水産業従事者の割合を比べると、日本の1%未満に対し、中国は約37%とかなり高くなっている。しかし、一人当たりの農地面積は日本の方が広い。等
						・甲骨文字 ※ひらがな可
						○高床倉庫の特徴を、2つ以上の視点から答えている。 ・風通しを良くし、湿気を防ぐために床を高くしてあり、収穫した米が食べられないようにねずみ返しが備わっている。等
						○2つとも正解している。 ・イ、ウ
						○物見やぐらと、ほりの両方について記述している。 ・物見やぐらを建て、周りをほりや柵で囲んでいるから。 ※物見やぐらや、ほりといった具体的な名称が出ていなくても可。等
4	(1)		16	知識 理解		○稲作が広がった理由を、保存や生産地域の広さなどの視点から記述している。 ・長い間保存ができるから ・栄養価が高いから ・生産することができる地域が広いから ・比較的安定して収穫できるから 等
						○高床倉庫の特徴を、1つの視点から答えている。 ・床を高くすることで湿気を防いでいる。 ・ねずみ返しが備え付けられている。等
						○物見やぐらか、ほりのどちらか一方から記述している。 ・物見やぐらが備わっているから。 ・周りがほりで囲まれているから。等
						○2つとも正解している。 ・イ、ウ
						○物見やぐらと、ほりの両方について記述している。 ・物見やぐらを建て、周りをほりや柵で囲んでいるから。 ※物見やぐらや、ほりといった具体的な名称が出ていなくても可。等
5	(1)		21	技能		○古代の日本が目指した国を、争いのない国と天皇中心の国の両方から答えている。 ・争いのない、天皇中心の国を目指していた。等
						○3つとも正解 ・ア ×、イ ×、ウ ○
						・エ
						○2つとも正解している。 ・ア、エ
						○3つの語句のうち、2つの語句を使って記述している。 ・開墾した土地は自分のものとするので農民の意欲を高め、口分田を増やそうとした。 ・土地を増やして、税収入を増やそうとした。等

【授業改善の視点】  
歴史的分野の学習においては、年表を活用して歴史的事象のつながりを確認し、根拠となる資料を使って説明する言語活動を積極的に取り入れる。